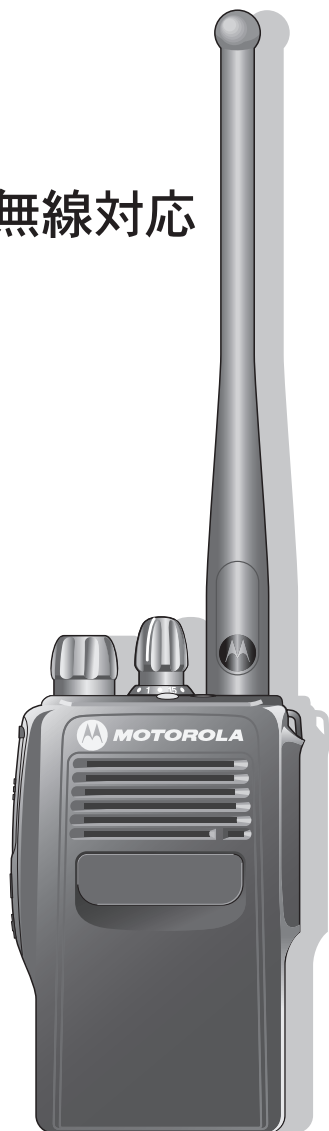
一般/複数波簡易業務用無線対応
携帯型無線機

GL2500R
取扱説明書

GL2500R の詳細と価格は

モトローラ無線機
プレミアディーラー

株式会社トーワ

本　社
〒583-0991　大阪府南河内郡太子町春日９８－３６２
tel 0721-98-1317 fax 0721-98-1373 mail@towa-inc.net
日本橋ショウルーム
〒556-0005　大阪市浪速区日本橋４－１７－９
tel 06-6632-5115 fax 06-6632-5110

コンピュータソフトウェア著作権

はじめに

このたびはモトローラの携帯型無線機「GL2500R」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書はGL2500Rの標準的な操作方法について説明した取扱説明書です。ご使用前に必ずお読みください。

●ご注意

・通話は、無線局免許状に記載されている目的、通信の相手方および通信事項の範囲内で行ってください。ただし、人命の救助、洪水、火災などの災害時に、人命にかかわる通信を行なうときはこのような制限はありません。
・他人から頼まれて通信したり、他人の用件のために無線機を貸して使用することは電波法令で禁じられています。
・他人の通話を聞いて、これを漏らしたり悪用することは電波法令で禁じられています。
・本機は電波法令で定められた技術基準に適合（合格）していますので、分解や改造は電波法令で禁じられています。

●本文中のマークの意味は次のようになっています。

マーク	意味
⚠ 危険	この表示は「人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠ 警告	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠ 注意	この表示は「人が障害を負う可能性が想定される内容や物的損害の発生が想定される内容」を示しています。
お願い	性能を十分発揮できるように、お守りいただきたい事項です。

安全上のご注意

製品安全性およびRF（高周波）エネルギー照射の適合

この無線機の使用は、アメリカ連邦通信委員会（FCC）の定めるRF（高周波）エネルギー照射の基準を満たす業務目的に限られています。
この無線機をご使用になる前に、製品安全性およびRF（高周波）エネルギー照射に関する添付冊子に記載されているRF（高周波）エネルギー認知情報および操作説明を必ずお読みください。
モトローラ承認済みのアンテナ、バッテリー、およびその他のアクセサリ一覧については、承認済みアクセサリーを掲載している次の英文ウェブサイトを参照してください。
http://www.motorola.com/cgiss/index.shtml.

●その他の安全上の注意

◎その他使用にあたって
ゴルフ場などの野外で携帯無線機を使用中に雷鳴が聞こえた時は、落雷のおそれがありますので無線機を使用しないでください。また、本無線機は雨天、降雪、海岸、水辺などでの使用にはご注意ください。

◎その他電子機器との混信
正しく設置されていない、また、十分にシールドされていない自動車の電子操作系統や娯楽用機器など、電磁波によって影響を受ける場合があります。それぞれの販売メーカーまたは販売店に、それらの設備が外部からの電磁波から適切にシールドされているかどうかご確認ください。また、自動車などに別途追加した設備についてもご確認ください。

◎無線機本体について
火災や感電故障の原因となりますので、分解や改造は行わないでください。通信に支障をきたすほか電波法令に違反します。

◎付属品およびアンテナについて
付属品についてはお買い求めの販売店にご相談のうえ正しく取り付けてご使用ください。

バッテリー、充電器など周辺機器については必ず専用の物をお使いください。発熱や発火、故障の原因となります。
アンテナについては付属品のアンテナをご使用ください。取り外して基準を満たしていない他のアンテナや、他の部品を付け加えるなどの改造をしたアンテナを使用した場合、通話品質を損ねたり、無線機本体に支障をきたすほか電波法令に違反します。
また、アンテナが破損した場合、その状態のままで無線機を使用しないでください。破損部分が人体等に触れたまま使用した場合、人体に損傷をきたす場合があります。

必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

◎異常に温度が高くなるところや、直接雨や水のかかる場所に放置しないでください。変形や故障の原因になる場合があります。
◎直射日光のあたる所（自動車内）や高温になる所、極端な低温環境に無線機本体を置かないでください。変形や故障の原因になる場合があります。
◎接続端子に金属片等が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因になる場合があります。
◎強い衝撃をあたえたり、投げつけたりしないでください。
◎アンテナが破損することがありますので、無線機を持つときは、アンテナをつかまないでください。
◎接触不良の原因となりますので、オーディオアクセサリを使用しないときには、ダストカバーを付けてご使用ください。

●バッテリーをお使いいただく前に

バッテリーはお引き渡し時には、充分充電されていません。ご購入後の充電は、14〜16時間の充電が必要となります。必ず充電してからお使いください。また、バッテリーをお使いになる前に以下の注意をお読み下さい。

誤った取り扱いをすると、発熱・漏液・破裂のおそれがあり危険です。必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

◎充電の際には専用の充電器を使用してください。

◎高温になる場所（火のそば、ストーブのそば、炎天下など）や引火性ガスの発生するような場所での充電・放置はしないでください。
◎バッテリーの端子をショートさせないでください。持ち運ぶ際や保管する時は、端子が金属片などと接触しないようにしてください。
◎火の中に投入したり、加熱しないでください。
◎釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
◎直接ハンダ付けしないでください。
◎分解や改造はしないでください。

誤った取り扱いをすると、発熱・漏液・破裂のおそれがあります。必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

◎夏期、閉め切った車内に放置するなど極端な高温や低温環境では電池の容量が低下し利用できる時間が短くなります。また、電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温（20℃±5℃）でご使用ください。
◎水、雨水、海水などにつけたり、濡らしたまま放置しないでください。
◎バッテリーを使用しない場合には、無線機本体からバッテリーを外して湿気の少ない場所で保管してください。

●取扱い上のお願い

お願い

◎電源端子・充電端子をときどき乾いた綿棒などで、清掃してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。
◎無線機本体の清掃の際は、固めの豚毛のブラシに洗剤溶液（台所用洗剤を水に混ぜて作ったもの）を少量つけて軽くこすってください。
清掃後は、糸くずのつかない布できれいに拭き取ってください。
また洗剤の溶液がコネクタ付近、または溝や割れ目に残らないように注意してください。
◎無線機を直接、洗剤の溶液の中に入れるようなことは絶対にしないでください。
◎溶剤やアルコールなどで無線機を清掃すると、無線機を傷つけたり破損したりすることがあります。

●防水性能について

必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。
GL2500Rは、防浸型バッテリーを装着した状態でIP67「JIS保護等級7相当」の防水性能を有しております。

・防浸形IP67（JIS保護等級7相当）
　常温の水道水、かつ水深１mの静水にGL2500Rを静かに沈め、30分放置後に取出した状態で無線機として機能すること。
　※耐水圧設計ではありませんので、高い水圧がかかる場所でのご使用や、水中に長時間沈めることはおやめください。
・水滴が付着した場合は放置せず水滴を拭き取って下さい。
・水中で使用しないで下さい。
・雨の中でご利用の際は、雨量にご注意下さい。
・雨の中や水滴が付いたままでのバッテリーの取り付け/取り外しや、ダストカバーの着脱は行わないで下さい。
・防水性能の記載がある付属品・アクセサリーを除いては、防水性能を有しておりません。
・ぬれている状態で充電しないで下さい。
・熱湯、温風（ドライヤーなど）をGL2500Rにあてないで下さい。
・極端な温度の変化でのご利用は避けて下さい。結露のため内部が腐食し故障の原因になりますのでご注意ください。
・マイク、スピーカ部に尖ったものを差し込まないで下さい。
・ご使用になる環境はそれぞれ異なりますので、全ての状態での防水性能を保証するものではありません。

・製品本体の防水性能を維持するためには、異常の有無に関わらず保証期間経過後、1年に一度のメンテナンスをお勧めします。（有償にて承ります。）
・過失等、故障内容によっては、保証期間内においても有償修理の対象となる場合があります。

目　次

■操作編

特　長

●音声品質の向上

音声品質を向上するために以下の機能を標準装備しています。

・ローレベルエクスパンション（ＬＬＥ）
ＬＬＥ機能は受信時に周囲の雑音を押え、通話を聞き取り易くします。

・コンパンダ機能
圧縮機能は音声の品質を向上させます。送信時に音声を圧縮し、受信時に伸張することで、周囲の雑音を少なくします。この機能はコンパンダ機能が設定がされている無線機間の通信時のみ有効です。
※予め設定が必要です。お買い求めの販売店にご相談ください。

●バッテリーセーブ機能

通信の待ち受けの際、常に受信状態で待機するのではなく間欠的に受信することにより、バッテリーの消費電力を抑えバッテリーの持続時間をより長くもたせる機能です。

●プログラマブルボタン

特定のボタン／キーを無線機操作のショートカット・キーとして登録することができます。
詳細はお買い求めの販売店にお問い合わせください。

●スキャン（一般業務のみ）

この無線機には複数の周波数（チャンネル）が設定できます。
一般局の場合に、他の周波数（チャンネル）が使用されているかどうか、または空いているかどうかを確認する機能です。

●トーンスケルチ

音声信号と一緒に特定のトーン周波数を発信し、このトーン周波数を受信できるグループ内でのみ通信できるように通信対象を限定する機能です。

●防水機能

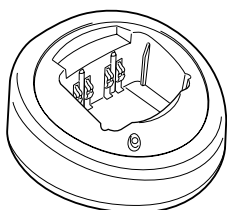
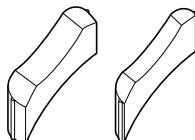
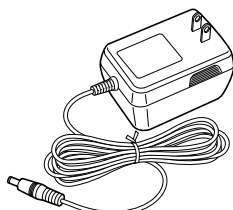
防浸型バッテリーを装着した状態で防浸形IP67（JIS保護等級７相当）の防水性を有しています。

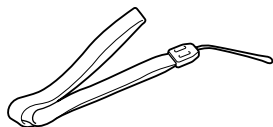
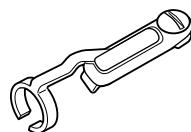
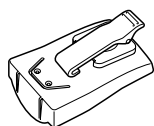
製品および付属品の確認

はじめに同梱品を確認してください。
※お客様の選択によって異なる場合があります。

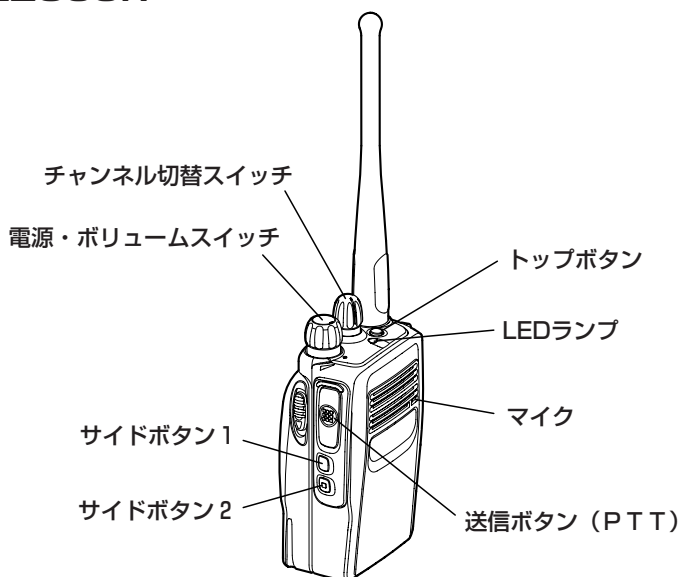
●無線機本体およびアンテナ

●バッテリー

●充電器

充電器

充電器用スペーサー

ACアダプタ

●ストラップ

●ダストカバー

●キャリングホルダ

●取扱説明書（本書）

各部の名称と機能

■GL2500R

●電源・ボリュームスイッチ

無線機の電源のオン・オフおよび音量の調整に使用します。

●チャンネル切替スイッチ

チャンネルの切り替えに使用します。

●送信ボタン（ＰＴＴ）

送信ボタンを押し続けている間送信します。離すと受信状態となります。

●マイク

送信するときはマイクに向かって話します。

●ＬＥＤランプ

送受信の状態、バッテリーの状況、電源の状況、セレクティブコール（個別/グループ）の状況およびスキャンの状況を色と点滅・点灯により表示します。

●プログラマブルボタン

以下のいずれかのボタン/キーを指定して、無線機操作の機能をショートカットキーとして登録することができます。
プログラマブルボタンに指定できるボタン/キーは、
・トップボタン
・２つのサイドボタン（サイドボタン１、サイドボタン２）
のいずれかです。
登録方法の詳細はお買い求めの販売店までご相談ください。

登録したキーに対して、以下の操作をするとショートカットキーとして機能します。
・ ショートプレス　　　　：すばやく押して離す
・ ロングプレス　　　　　：１.５秒以上押しつづけた後離す
・ プレスアンドホールド　：押しつづける

機能	ショートプレス	ロングプレス	プレスアンドホールド
非常アラーム信号	非常信号の起動	非常信号のキャンセル	ー
モニタ・オープンスケルチ	モニタ	オープンスケルチ	ー
ボリュームセット	ー	ー	ボリューム調整用の連続トーン
スキャン	スキャンのスタート・ストップ	不要チャンネル削除	ー
送信出力	送信出力切り替え	送信出力切り替え	ー
スケルチ	スケルチレベル深・浅の切り替え	スケルチレベル深・浅の切り替え	ー
バッテリーインジケータ	ー	ー	バッテリー状況

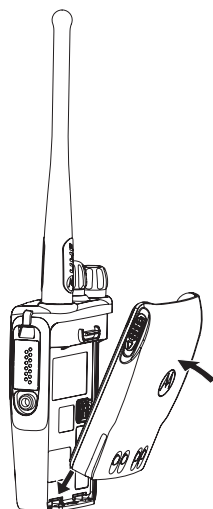
バッテリーの取り付け取り外し

注意：工場から出荷されたバッテリーは輸送時間、在庫期間等によって容量が低下しています。新規に購入したバッテリーは、内部物質の活性化のため、最初の4～6回の充電は必ず14～16時間充電し、容量を完全に回復させてからご使用ください。

●バッテリーを取り付ける

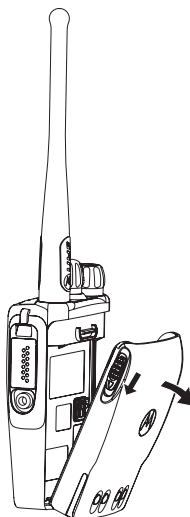
1 無線機の電源が入っている時は、<電源/ボリュームスイッチ>を“カチッ”と鳴るまで左（反時計回り）に回し、無線機の電源を切ります。

2 本体背面下部の3つのスロットにバッテリーの下部を合わせます。

3 バッテリーの上部を無線機に押し付けるように「カチッ」と音がするまで押し込みます。

●バッテリーを取り外す

1 無線機の電源が入っている時は、<電源/ボリュームスイッチ>を“カチッ”と鳴るまで左（反時計回り）に回し、無線機の電源を切ります。

2 バッテリー上部の両側にある 2 つのラッチを押し下げます。

3 バッテリー上部を無線機本体から外します。

バッテリー

●バッテリーの電圧レベルを確認する

GL2500Rでは、プログラマブルボタンに設定されたバッテリーインジケータボタンを押して、LEDが点灯する色または点滅により、バッテリー電圧レベルを確認することができます。

バッテリー電圧レベル	ＬＥＤ表示
高（満充電）	緑
十分	黄
低	赤点滅
非常低	なし

補足 バッテリー電圧レベル表示はあくまでも目安です。また、バッテリーの種類、充電状態、気温などの使用環境、機能の設定などによって、LED表示のタイミングやバッテリーの持続時間が多少異なります。
また、バッテリーの残量が少なくなった時、送信時に“ピロッピロッ”とアラームが鳴ります。

注意 バッテリーインジケータが表示されないときは、指定以外のバッテリーが使用されている可能性があります。バッテリーを取り外し、お買い求めの販売店までご相談ください。

●バッテリーを正しくお使いいただくために

GL2500Rのバッテリーをお使いいただく上で、100%の性能を引き出すための正しい使用方法を解説します。

バッテリー持続時間

バッテリーの持続時間については以下の動作状態を基に計算したもので、実際の使用状況によって変化します。特に送信回数が多くなると使用時間が短くなります。

バッテリー	ローパワー	ハイパワー
1400mAh防浸型リチウムイオンバッテリー	約13時間	約10時間

このとき次のような送受信の比率を想定しています。
送信：受信：待ち受け＝5：5：90

●防浸型バッテリーについて（IP67）

防浸型バッテリーには下記のバッテリーラベルが、バッテリーの底部に貼ってあります。

IP67

注意 GL2500R無線機を正常に使用するには、モトローラ認定の防浸型バッテリー（IP67ラベル付）をご利用ください。

注意 防浸型バッテリー（IP67ラベル付）を充電する場合は、充電器に差し込む前にGL2500R無線機本体または防浸型バッテリー（IP67ラベル付）が濡れていない事を確認してください。

注意 充電器は防水処理されていません。充電器の安全で適切な動作を確保するため、GL2500R無線機が水に濡れたままの状態で充電器に差し込まないでください。安全のため、濡れた手でバッテリー端子に触れないでください。金属製の端子部が腐食する恐れがあるため、防浸型バッテリー（IP67ラベル付）本体を水につけないでください。

●水に濡れた時の水抜きについて

GL2500R無線機を水に濡らした場合は、無線機本体の水分を乾いた布などでよく拭きとってください。また図のように無線機本体をしっかり持ち、振って水分を抜き取ってから操作してください。水に濡れたまま無線機を操作すると、音量が小さくなったり音質が変化する場合があります。

●バッテリーの使用環境について

充放電寿命（使用環境で差がでます）

各バッテリーの充電および放電の繰り返し回数（寿命）は次のとおりです。もし、１日数回充放電するような使い方をされる場合には、複数のバッテリーをお持ちになることをおすすめします。

リチウムイオンバッテリー　　約300回

使用温度範囲

各バッテリーの使用温度範囲は以下のとおりです。0℃以下の低温で使用される場合には、使用時間が短くなります。

リチウムイオンバッテリー　　5℃～50℃

充電環境について

満充電となったバッテリーを再充電しないでください。バッテリーの寿命が短くなる原因となります。

満充電後はバッテリーを差し込んだままにしないでください。バッテリーの寿命が短くなる原因となります。

バッテリーの廃棄方法

古くなったバッテリーを廃棄するときには、お買い求めの販売店へご連絡ください。
バッテリーをごみとして捨てると、環境汚染の原因になります。

大切な資源を守るため、リサイクルにご協力ください。

●充電方法

バッテリーの残量が少なくなったときは、以下の方法で充電してください。

補足 家庭用（100V）から充電します。

1 無線機の電源が入っている時は、<電源/ボリュームスイッチ>を“カチッ”と鳴るまで左（反時計回り）に回し、無線機の電源を切ります。

2 充電器のケーブルをACコンセントに差し込みます。

注意 室温（リチウムイオンバッテリーは10℃～30℃）で充電してください。バッテリーは温度センサーが内蔵されています。凍結したり冷たくなったバッテリー（10℃以下）または熱くなったバッテリー（40℃以上）に対しては、すぐには充電を始めません。またエアコン等の風が直接あたる場所は避けてください。充電時間が長くなる場合があります。3時間以上赤ランプが点灯している場合にはもう一度設置環境を確認し、差し込み直してください。充電後バッテリーが暖かくなりますが、異常ではありません。

3 バッテリーを充電器に差し込みます。

バッテリーは無線機に取り付けたままでも、また無線機から取り外した単独の状態でも充電できます。急速充電が始まると、充電ランプが赤く点灯します。

注意
- 充電器からバッテリーを引き抜く際、充電器本体を押さえながら引き抜いてください。
- 充電ランプが赤く点滅する場合は、もう一度各端子を確かめ、差しこみ直してください。充電ランプが橙色（スタンバイ）になる場合は、バッテリーが冷えすぎていたり熱すぎます。しばらくすると充電を開始しますのでそのままお待ちください。
- 充電器を使用中に、ラジオやテレビなどに雑音が入る場合には、充電器をラジオやテレビから離してください。
- 電源分離型急速充電器で充電する際は、無線機本体にバッテリーを取り付けたまま、あるいはバッテリー単体でも充電することができます。

4 充電器のLED表示により充電の進み具合を確認することができます。

ＬＥＤ表示	状況
緑点灯1回	充電器起動
赤点滅	充電不可
オレンジ点滅	充電待機中
赤点灯	急速充電中
緑点滅	約90%充電完了
緑点灯	急速充電完了

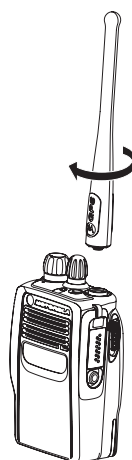
5 充電ランプが緑色に点灯すると、急速充電完了です。

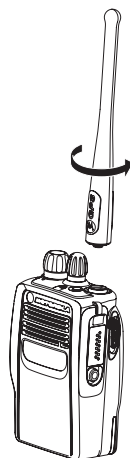
補足
・連続充電により充電器が少し暖まった状態で、次の空のバッテリーを差し込んだ場合、まれに充電器の熱により急速充電がすぐに終わってしまうことがあります。このような場合には、いったん充電器のコンセントを抜いてしばらく休止（約1時間）させ、充電器を冷やしてください。
・緑点灯に切り替わるまでに、約2～3時間かかります。さらに 4 時間以上充電を続けると、完全充電できます。
・電池残量や電池の使用状況により、充電時間は異なります。

アンテナの取り付け/取り外し

●アンテナを取り付ける

1. アンテナコネクタにアンテナの下部を合わせます。

2. アンテナを時計回りにきっちり止まるまで回します。

●アンテナを取り外す

アンテナを反時計回りに外れるまで回します。

電源を入れる/切る

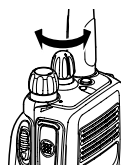
・電源/ボリュームスイッチを時計回りに回すと「ピッピッ」と音がして電源がオンになります。無線機が正常に起動しますと自己診断パスの鳴音と共に緑のＬＥＤが１度点灯します。無線機が異常の場合は「ブー」と異常の鳴音を発します。
・電源/ボリュームスイッチを反時計回りに「カチッ」と音がするまで回すと電源がオフになります。

音量を調整する

相手の声やキー操作音などの音量を調整します。

1. ボリュームセットボタンを押して現在の音量を確認します。
   ボリュームセットボタンを押している間、連続トーンを発します。
2. 電源/ボリュームスイッチを左右に回して調整します。
   “カチッ”となるまで左に回すと、電源が切れてしまいます。

チャンネルの切替

チャンネル切替スイッチを回して使用する
チャンネルに合わせます。

非常信号アラーム（販売店での設定が必要となります）

事故や災害などの非常事態が起きたときに、非常信号で指令卓に通知したり、鳴音で近くにいる人に非常状態の発生を知らせることができます。

工場出荷時は、非常信号アラームの設定はされていません。非常信号アラームは以下のいずれかの方式が、お客様の選択によりお買い求めの販売店で設定することができます。

●非常信号（一般業務のみ）

特定のボタンをアラームボタンに指定します。そのボタンを押すと、あらかじめMDCシグナルが設定された指令卓へ非常信号が送られます。
指令卓への非常信号の送信と同時に、鳴音で周囲へ非常状態の発生を知らせます。周囲へ知らせる方法は、以下の3種類から選択して設定することができます。

・指令卓への非常信号の送信と同時に、鳴音を発し、待機状態となる。
・指令卓への非常信号の送信のみ行い、鳴音は発せず、待機状態となる。
・指令卓への非常信号の送信のみ行い、鳴音は発せず、また待ち受け（受信）もしなくなる。

●非常サイレン（複数波簡易/一般業務）

特定のボタンをアラームボタンに指定します。そのボタンを押すと、ボリューム最大で鳴音を発します。

補足 非常サイレンを解除するには、再度アラームボタンを押します。

アラートトーン（状態通知音一覧）

●アラートトーン

無線機本体が自己診断を行った場合や、プログラマブルボタンの機能が設定されているときは、以下のような鳴音で状態を通知します。

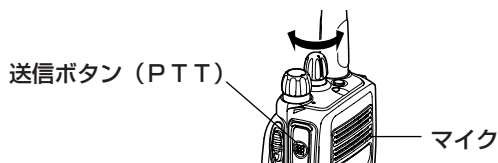
・ピッ□（高い音）
・ブ■　（低い音）

□□	ピッピッ	自己診断正常トーン
■■■■	ブー	自己診断異常トーン
■□	ブピッ	昇順音
□■	ピッブ	降順音

●プログラマブルボタン鳴音

機能	昇順音（ブピッ）	降順音（ピッブ）
スキャン	スキャン開始	スキャン停止
送信出力	ローパワー	ハイパワー
スケルチ	深	浅

送　信

1 チャンネル切替スイッチを回して使用するチャンネルに合わせます。

2 送信ボタン（ＰＴＴ）を押してマイクから２．５ｃｍから５ｃｍ離れたところからマイクに向かって話します。

3 話しが終わったら送信ボタン（ＰＴＴ）を離します。

受　信

1 無線機の電源をオンにします。

2 ボリュームレベルを調整します。

3 使用するチャンネルに合わせます。

4 必要に応じてボリュームレベルを調整しながら聞きます。

補足 LEDの点灯と点滅

送信時	赤の点灯
受信時	赤の点滅
コールアラート受信時	黄の点灯
スキャン時	緑の点滅

無線の呼び出し

●セレクティブコール（個別、グループ）の受信

セレクティブコール（個別通信）を受信したとき、鳴音を発しＬＥＤがオレンジ色で点滅します。送信ボタン（PTT）を押して応答してください。

●コールアラート（選択呼出し/個別、グループ）の受信

他の無線機から鳴音で呼び出しを受ける事ができます。

注意
・対象となるのは、最後に受信した呼び出しとなります。
・コールアラートが解除されるまで、個別通信は受信することができません。

補足 通話相手が電波の届かない場所にいるか、電源が入っていない場合はコールアラートを受信できません。

●ラジオチェック（無線機チェック）の応答

相手を呼び出す前に相手の無線機が電波の届くところにいるかどうか確認することができます。（指令局側）

GL2500Rはラジオチェックの信号を受信すると、自動的に応答信号を返信します。

スケルチ

特定のチャンネルで不要な電波を受信したり、あるいは周囲の雑音により本来の通信に支障をきたす時、スケルチレベルを深くすることができます。

補足 プログラマブルボタンを押すと、スケルチの深い浅いが切り替わります。

送信出力レベル

送信出力レベルを２通りに設定することができます。ハイパワーで送信すると通信距離は伸びますが、バッテリーの消耗はローパワーに比べ早くなります。ローパワーで送信すると、バッテリーの消耗を節約することができますが通信距離はハイパワーと比べて短くなります。

プログラマブルボタンを押すと、送信出力レベルが切り替わります。
※予め設定が必要です。お買い求めの販売店にご相談ください。

スキャン（一般業務用のみ）

GL2500Rには、16のチャンネルを設定することができます。
設定されたチャンネルをスキャンするために、スキャンボタンを設定することができます。
スキャンを開始させると、スキャンリストに登録されているチャンネルをスキャンし、受信しているチャンネルに自動的に切り替わります。
スキャン機能を動作させるボタンをスキャンボタンと呼びます。

●スキャンの開始/停止

スキャンを開始するには、スキャンボタンを使用します。
また、スキャン中はＬＥＤが緑で点滅します。スキャンを停止するには、予め設定したスキャンボタンを押してください。
※予め設定が必要です。お買い求めの販売店にご相談ください。

●スキャンボタンの使用

1. スキャンボタンを押すとスキャンを開始します。
2. 再度スキャンボタンを押すとスキャンを停止します。

●トークバック

トークバックオプションを設定すると、無線機のチャンネル設定に関係なく、スキャン時に受信したチャンネルのホールドタイム（保持時間）中に、そのチャンネルで送信を開始することができます。詳しくはお買い求めの販売店にご相談ください。

●不要チャンネルの削除

スキャンリストで設定しているチャンネルの中で、ノイズや混信がひどくて使用できないチャンネルをスキャンリストから削除することができます。

1 不要チャンネルで停止しているときスキャンボタンを鳴音が鳴るまで押しつづけます。

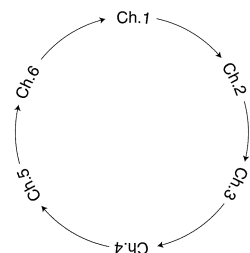
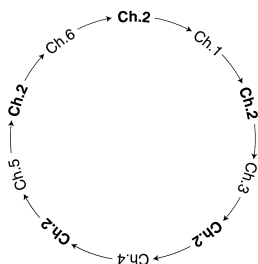
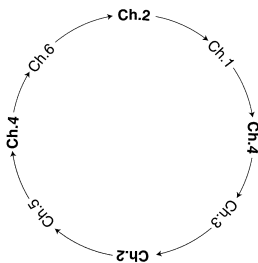
2 スキャンボタンを離します。

注意 優先スキャンチャンネルは削除できません。また、少なくとも１チャンネルはリストに残す必要があります。

●スキャンリストの編集

スキャンリストの編集が必要なときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

●スキャンリストの優先設定

頻繁に通信を行うチャンネルを特別にチェックすることができます。２つの優先チャンネルを設定することができます。６つのチャンネルを通常のスキャンを行ったときの順序は次のようになります。

チャンネル 2 を優先の 1 に設定したときの順序は次のようになります。

チャンネル 2 を優先の 1 およびチャンネル 4 を優先の 2 に設定したときは次のようになります。

注意 優先の 1 あるいは 2 に設定していないチャンネルでスキャンが停止している間も、優先のチャンネルはスキャンされます。このとき優先チャンネルで受信すると優先チャンネルでスキャンは停止します。

アフターサービスについて

GL2500Rは、お買い求めの販売店で定期的に点検を受け、常にベストな状態でご使用ください。

1 保証期間について

(i) 無線機本体

保証期間は、お客様が運用を開始された日より２年間です。正常なご使用状態でこの期間内に万一故障が生じた場合には、お手数ですが、お買い求めの販売店へご連絡ください。当社修理規定に基づき、無償で修理いたします。

(ii) バッテリー

保証期間は、お客様が運用を開始された日より１年です。正常なご使用状態でこの期間内に万一故障が生じた場合には、お手数ですが、お買い求めの販売店へご連絡ください。無償で交換をいたします。なお、交換品の保証期間は、交換時期に関係なく、最初のお買い上げより１年が無償保証期間となります。

2 保証期間経過後の修理

お買い求めの販売店にて修理（有料）いたしますのでご相談ください。

3 防水性能の維持について

製品本体の防水性能維持するためには、異常の有無に関わらず保証期間経過後、１年に一度のメンテナンス（有料）をお勧めします。

モトローラ・ビジネスユニット

カタログ等のお問い合わせは、
モトローラ・カスタマーセンターへ　0120-549-533

ホームページ……http://motorola-bizunit.jp

仕様は改良のため、予告なしに変更することがあります。

本製品は「外国為替及び外国貿易管理法」（日本）及び「米国輸出管理規制」による規制を受けますので、当製品を輸出する場合は、同法に基づく手続きが必要です。

発行元　株式会社スタンダード　東京都目黒区中目黒4-8-8

6871028M01-B

JM-1